春 分 儀 式

I ∴O∴S∴ 儀式魔術文書 VE16A

THE OFFICIAL ORGAN
OF

I∴O∴S∴

PUBLICATION IN CLASS D
IMPRIMATUR : M FRATER I∴O∴S∴

THE VERNAL EQUINOX CEREMONY FOR ASTRAL WORKING
I∴O∴S∴ ASTRAL TEMPLE WORKING

第１章　解　　説

本儀式は、小規模な団内グループ（ロッジ単位程度）が、簡易な準備で行える霊的集合儀式（**Astral Temple Working**）として作成した。従って、実行儀式よりも簡略化した部分がある。

《春秋分点》は、「均衡と調和」を表象する宇宙的な時刻である。年に２回の分点において、太陽の運行または振動と地上の四大元素が融合する。本儀式は、原則的に春秋分点の前後４８時間以内に実施すること。２０１６年の春分点通過は３月２０日（日）午後１時３０分（日本標準時）である。儀式内容については、聖四文字のユクディムを活用し、春分の祝祭を実施する。

１　概　要

（１）八文字の名前

「聖四文字（テトラグラマトン）」 יהוה と「主（アドナイ）」 אדני とを織りなした神名が יאהדונהי（ヤハドゥナヘ） である。これは中世期以前から使われていた神名の織合せ法である。[1]『旧約聖書』には神名としては出てこない。八文字の名前（**Octagrammata**）という。

その明快な典拠となるのは、『ゾーハルの書』（1:29a）の記述である。

「**ADNI**は唯一の名前と結合し、**IAHDVNHI**となり、**IHVH**と**AHIH**が結合し、**IAHHVIHH**となる。
・・・**AHIH**、**IHVH**及び**ADNI**はそれぞれケテル、ティファレト及びシェキナーにあり、」[2]

上記の「聖四文字（テトラグラマトン）」のヨドが名頭に来る יאהדונהי という神名が散見されるが、結合法は２種類あり、「主（アドナイ）」のアレフが名頭に来る איהדונהיה という神名も存在する。

ハバド・ハシディズムでは、八文字の名前の前者（名頭：ヨド）を「上なる合一」と呼び、後者（名頭：アレフ）を「下なる合一」と呼称した。「上なる合一」はアツィルト界を表象し、「下なる合一」はブリアー界からアッシャー界までを表象する。[3]

上なる合一を表象するのは祈祷文シェーマである。

「聴け、イスラエルよ。ヤーウェこそ神、ヤーウェは唯一なり。
שמע ישראל יהוה אלהינו יהוה אחד
（シェーマ　イスラエル　ヤーウェ　エロヘイヌ　ヤーウェ　エイカド）」[4]

下なる合一を表象する祈祷文は、シェーマへの応答のバルク・シェムである。

「聖なる名前に祝福あれ。御国の栄光は常永久に。
ברוך שם כבוד מלכותו לעולם ועד
（バルク　シェム　カヴォド　マルクトー　ル・オラーム　ヴァ・エド）」[5]

もうひとつの解釈として、『ゾーハルの書』に書かれたように、ティファレトの神名 יהוה とマルクトの神名 אדני の結合は、王（ティファレト）とシェキナーたる女王（マルクト）の聖なる婚姻（ヒエロスガモス）とされる。前者はティファレトからマルクトへの順方向への光の照射（獅子のカバラで言う「直接光」）であり、後者はマルクトからティファレトへの光の回帰である。[6]

（1）**Miles Krassen, "New Years Day for Fruit of the Tree", in *Judaism in Practice : From the Middle Ages Through the Early Modern Period*, Princeton : Princeton University Press, 2001, p.91.**

（2）***The Zohar : Pritzker Edition*, Volume 1, Stanford : Stanford University Press, 2004, p.170.**

（3）**Rabbi Shneur Zalman of Liady, "The upper and Lower Unity" in Norman Lamm, *The Religious Thought of Hasidism*, Hoboken : KTAV Publishing House, 1999, pp.10-14, n.23, n.26, p.50, Aditional Note 2.**

（4）ユダヤ人が祈祷する際は「聖四文字」は、アドナイと発音される。

（5）シェーマの祈祷が終わったあと囁くように呟かれる。

（6）**Jacobus G. Swart, *The Book of Immediate Magic*, Part1, Gauteng : Sangreal Sodality Press, 2015, pp.131f.**

光の照射（ティファレトからマルクト）								原神名	光の回帰（マルクトからティファレト）							
	ה		ו		ה		י	יהוה	ה		ו		ה		י	
י	ה	נ	ו	ד	ה	א	י		ה	י	ו	נ	ה	ד	י	א
י		נ		ד		א		אדני		י		נ		ד		א

一方で、ティファレトの神名 יהוה とケテルの神名 אהיא の結合も考慮すべきである。次の二つの神名 יאהוהיהא と איההיואה を織合わせることができる。

光の上昇（ティファレトからケテル）								原神名	光の下降（ケテルからティファレト）							
	ה		ו		ה		י	יהוה	ה		ו		ה		י	
א	ה	י	ו	ה	ה	א	י		ה	א	ו	י	ה	ה	י	א
א		י		ה		א		אהיא		א		י		ה		א

（2）イクディムの技法

獅子のカバラでは、「八門の法」のうち第七門『聖なる霊魂の門（シャール・ルアク・ハコデシュ）』に魔術的神名操作法が詳細に説明されている。アリの学派では、「五つの貌（パルツフィム）」に様々な大系を織り込んでいった。

数　価		聖　四　文　字	照　応
72	עב（アブ）	יוד הי ויו הי（ヨド・ヒイ・ヴィヴ・ヒイ）	コクマー
63	סג（サグ）	יוד הי ואו הי（ヨド・ヒイ・ヴァヴ・ヒイ）	ビナー
45	מה（マー）	יוד הא ואו הא（ヨド・ハー・ヴァヴ・ハー）	6セフィロト
52	בן（ベン）	יוד הה וו הה（ヨド・フー・ヴゥー・フー）	マルクト

「聖四文字（テトラグラマトン）」のセフィロト対応の発音記号の変化は、モーシェ・コルドヴェロのやり方を参照していた。

セフィロト	発音記号	発音の手引	聖四文字の発音
ケテル	カメツ	a（長）	ヤー・ハー・ヴァー・ハー
コクマー	パタフ	a（短）	ヤ・ハ・ヴァ・ハ
ビナー	ツェレー	e（長）	イェー・ヘー・ヴェー・ヘー
ケセド	セゴール	e（短）	エ・ヘ・ヴェ・ヘ
ゲブラー	シェバー	e（半母音）	エ・ヘ・ヴェ・ヘ（弱く）
ティファレト	ホレム	o（長）	ヨー・ホー・ヴォー・ホー
ネツァク	ヒリク	i	イー・ヒー・ヴィー・ヒー
ホド	キブツ	u（短）	ユゥ・フゥ・ヴゥ・フゥ
イェソド	シュレク	u（長）	ユゥー・フゥー・ヴゥー・フゥー
マルクト	なし	なし	ヨド・ヘー・ヴァウ・ヘー

かれらは、後世のハバド・ハシディズムの教師が考えたよりも複雑な体系を展開した。「聖四文字（テトラグラマトン）」 יהוה を主軸に、「われ（エヘイエー）」 אהיא や「主（アドナイ）」 אדני との織合せを考慮した。そして、後世と同じ用語なので混乱しやすいが、前者の織合せを「上なる合一」と呼び、後者を「下なる合一」と呼んだ。神名のセフィラへの帰属は、相対的に変化し、実践者の霊的成熟度への要求は、下なる合一を達成するためには、ルアクとネフェシュが必要で、上なる合一にはネシャマーが必要とされた。(7)

合一の相	八文字の名前	原神名	セフィロト	霊魂成熟度
上なる合一	יאהוהיהא	יהוה	コクマー	ネシャマー
		אהיא	ビナー	

(7) Aryeh Kaplan, *Meditation and Kabbalah*, York Beach : Samuel Weiser, 1985, pp.237ff.

下なる合一	יאהדונהי	יהוה	ティファレト	ルアク及び
		אדני	マルクト	ネフェシュ

2　司官の配置

（1）司官の指定

本儀式に必要な司官は、**PRAECEPTOR**（ＰＣ）、すなわち「先導者」の１名である。

ＰＣは、黄金の夜明け団の伝統的な白の法衣を纏い。白のネミスをかぶり、マントやその他の役職記章はつけていない。右手に「ハイエロファントの棒」をもつ。それは神殿を開き、つなげる権威の象徴である。

他の参列者は、内陣団員は白の法衣と白のネミスを、外陣団員及びプロベイショナーは、黒の法衣と白黒縞のネミスをかぶり、手には何も待たず参集する。

ディオン・フォーチュンの内光協会のアストラル神殿儀式では、参集者は儀式場に座ったまま、光体（かれらはアストラル体と呼称）を下位アストラル神殿に投射する。そのとき光体は全裸であり、神殿の着衣の間（**Robing Room**）において、光の法衣を纏う。

（2）律法の宰相の召喚

司官は、マルクト神殿で律法の公爵を召喚し、メタトロンの顕現たる大天使の長上が「肉の衣を去る」までは、実効上の神（天使を使役する者）として活動する。この場合「肉」とは、魔術師の「光体」のことである。

3　アストラル神殿の構造

マルクト神殿を使用する。

4　身辺の準備

（1）部屋の準備

部屋を暖かくし、プライバシーを保護できるような態勢づくりをする。(家族に部屋に入らないように断ってからドアの鍵を閉める等)、携帯電話、アラームの類はあらかじめ切っておく。部屋の中央に快適な椅子か、ソファーを置き、その他の不要なものを片づける。

部屋を薄暗くする。小さな照明を利用する場合は、背後に置き、その光を直視しないように配置する。

何度も反復して練習し、象徴や、儀式の細部まで呑み込んでいても、外部の妨害ですべてが台無しになることもあり得る。準備は、怠りなく。

（2）シナリオ

シナリオ文書を単純化したので可能ならば記憶してもらいたい。記憶できない場合でも黎明視の妨げとなるので、テープの使用は控え目に。

あなたの行動する部分は**緑の文字**で記してある。神聖名を発音するときは、注意深く行うこと。事前のリハーサルは勿論、必須とも言える。

（3）直前の手順

開始する前に手を洗い（儀式的沐浴）、法衣（または身体を締め付けない服装）に着替え、ＬＢＲＰを行って椅子に座り、中央の柱の行法で活性化する。

第２章　儀　式

１　神殿への入場

この準備的作業は、光体のレベルではなく、生身の肉体で行う。

参加者は、東に面して座り、目をかすかに開き（いわゆる半眼の状態）にする。視線は足下に落とし、家具などの周囲の状況が明確に像を結ばないようにする。瞼を開く程度を変えて、この焦点を結ばない状態を維持する。気持ちが悪くなった場合は、普通に眼を開いて、もう一度調整する。

半眼のまま、深く呼吸をする。呼吸は肺だけではなく、全身の皮膚を通しても行う。一息ごとに、喉や鼻孔のみならず、全身の皮膚から、周囲に満ちている生気が肉体に吸い込まれ、全身の細胞を活性化する。

あなたは光のトンネルを通過して、アストラル神殿の外庭に着地し、扉の前に立つ。マルクト神殿のヤキンとボアズの柱を通過し、青銅の扉に面すると、扉の表面に刻まれたＩＯＳの三文字が内側から光を発し、扉は音もなく両側に開く。

神殿の内陣広間に通じる廊室において、兄弟姉妹たちが集っている。

２　ウシャブティ

先頭に立ち、集まった参加者を振り返るＰＣが静かに命じる。「ウシャブティを纏うべし。」

ＰＣは、率先して「小神像（ウシャブティ）」を纏う。

すなわち頭頂の光球から光を拡散し、やわらかな膜のような形に引き延ばして、喉の光球に結びつけ、さらに胸と背を通して、胴の光球を振動させ、腰を振動させ、最後は足下の光球を振動させ、全身をひとつの巨大な光の膜で包み込んでしまう。その無定型のオーラの卵を好みの神、天使、神話的形態に変化させる。この場合は、司官は顔のないアケファロスの姿形をまとう。参加者は、文字通りエジプト神話の代理神像である直立した人間の姿をもつ霊的姿形を纏う。

ＰＣは、廊室の中央の扉をくぐり、本殿に入る。

兄弟たちは、廊室でしばし準備のできるのを待つことになる。

３　物見の塔の儀式

ＰＣは、祭壇の西側に回り込む。自らのオーラを広間全体に広げる。そして、拡張した白く輝くオーラを保持したまま、小五芒星の追儺儀式を行う。

引き続き、小六芒星の追儺儀式及び物見の塔の儀式を行う。

参加者は、その動きを廊室から、おぼろげな円運動による渦の発生として捉える。詳細なＰＣの動作を視覚化する必要はない。

４　入場及び宣言

ＰＣは神殿の西の壁を背にして、東を向き合図の鈴を鳴らす。

ＰＣの霊的な鈴の合図で、参加者の入場が始まる。

兄弟たちは右側、すなわち南の壁際に立ち。姉妹は左側、北の壁際に立つ。

ＰＣは、内側を向いたまま次の言葉を宣言する。

ＰＣ：「Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴の兄弟姉妹たちよ。春分の儀式を開始せん。」

５　律法の宰相の召喚

ＰＣ：「七つの封印を光体に刻印せん。」

ＰＣは聖なる名前を唱えたあと、剣指をつくり、揃えた両膝に当てる。
参加者もＰＣの動作に倣う。
ＰＣ：聖名とともに唱える。「アブリース　ススティィー。わが脚を封じる。」
（אורים ססתיי）
全員：「わが脚を封じる。」

ＰＣ、参加者は剣指を心臓に当てる。
ＰＣ：聖名とともに「アバグ　バググ。わが心臓を封じる。」（אבג בגג）
全員：「わが心臓を封じる。」

ＰＣ、参加者は剣指を右肩に当てる。
ＰＣ：聖名とともに「アリム　ティパー。わが右腕を封じる。」(ארים תיפא）
全員：「わが右腕を封じる。」

ＰＣ、参加者は剣指を左肩に当てる。
ＰＣ：聖名とともに「アブリース　セシー　イァー。わが左腕を封じる。」
(אורים תסי יאה）
全員：「わが左腕を封じる。」

ＰＣ、参加者は剣指を首に当てる。
ＰＣ：聖名とともに「アビス　セル　バグ　エル　ヤーブ　ドゥーエル。わが首を封じる。」
(אבית תל בג אר יי ו דיואל）
全員：「わが首を封じる。」

ＰＣ、参加者は両手を胸の前で組む。
ＰＣ：聖名とともに「アブ　パク　キテル　スス　エイカド　ヤドヤド　ヤー。わが生命と
すべての部分を守護するために。」(או פאך קיטר סס אחד ידיד יה)
全員：「わが生命とすべての部分を守護するために。」

ＰＣ、参加者は両手を頭上高く差し出しＶ字を形造る。
ＰＣ：聖名とともに「オープ　パス　ヤーウ　キーブ　ヨー　ザハブ　ヤーウ　ティティス。
わが天蓋を封じる。」(אוף פת יהו חיו יו זהו יהו תיתס)
全員：「わが天蓋を封じる。」

ＰＣは封印の完成と律法の宰相への呼びかけを行う。
祭壇の傍らにいるＰＣの上に覆い被さるように出現する巨大な天使の像がウシャブティを呑み込む。アケファロスの顔のないオーラに、律法の宰相のテレズマ的姿形が融合し、再形成されてＰＣの霊的外形が急激に変化する。
ＰＣが宣言する。

ＰＣ：「われは、聖なる五つの文字に表象される無敵の一者なり。
四風を聖化するは、われなり。
五界を結ぶは、われなり。」

6　四風の聖化

ＰＣは東を向いて宣言する。
「Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴の神殿に四方位の風を召喚せん。」
神殿の東壁の中央に扉が現れた。

ＰＣは、東に向い高らかにヘブル語を詠唱する。それは、四方位の風をふるわせる呪歌である。
ＰＣ：「エロゥイィー
（ אלהי　わが力の根元よ。）
ネシャマー・シェー・ナタフター・ビー
（ נשמה שואה נאותהות בי　汝が授けし息吹よ。）[8]
テホラー・ヒー
（ טהרה הי　そは清浄なり。）
アター・バラーター
（ אתה ברא אתה　汝がそを創造せり。）
アター・ヤツァルター
（ אתה יצר אתה　汝がそを形成せり。）
アター・ネファクター・ビー
（ אתה נפח אתה בי　汝はそを我に吹き寄せる。）
ヴェ・アター・メシャムラー・ブキルビー
（ ואתה משמרת בקרו　また、汝は我がうちにあるそを監視する。）
ヴェ・アター・アティード・リット・ラー・ム・メフニィー
（ ואתה אטד לטלאו ממפני　また、汝はいつかそを我より取上げる。）」

全員：「バラフター・ヴェ・ヤツァルター
（ ברא אתה ויצר אתה　創造と形成 ）」

ＰＣは、東の方向に宝瓶宮のサインを描く。
ＰＣ：「ヒー・ネイ・ニー　（ הנה ני　われはここに）
ヒー・ネイ・ニー　（ הנה ני　われはここに）
ヒー・ネイ・アーニー・ヤー（ הנה אני יה　われはここに、神の息吹の）
アナ・ホゥシーアー　（ אנה יהושע　加護のあらんことを）」

全員：「ヤー・アナ・ホゥシーアー
（ יה אנה יהושע　息吹の加護あらんこと）」

ＰＣはヨド・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。
ＰＣ：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ベーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）
全員：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ベーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）

東の壁いっぱいに、黄色い照り返しを浴びた雲海がひろがる。
雲海は下から湧きあがる雲の断片で沸騰するようだ。
その黄色い雲の渦の中心に、仄かな薄暗い陰が生まれる。
その陰は人型をつくる。人型の頭部が紫色の光を放つ。

（8）来る（בוא）の変化形（בי）は、「霊が我がうちに入りたり（ותבא בי רוח）」（『エゼキエル書』２：２）のように使われる。

これはエロヒムの影だ。

ＰＣは、祭壇の南に回り、南の方向に獅子宮のサインを描く。
ＰＣ：「アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　エロヘイ・イスラーエル　（ אלהי ישראל　主の力よ）」

全員：「エロヘイ・イスラーエル　（ אלהי ישראל　主の力よ）」

南の壁いっぱいに、紅蓮の炎が燃えさかる。
爆発的な溶岩の噴出、燃え上がる硫黄の噴煙を炎の陰に垣間見る。
その炎の壁のただなかに、巨大なたてがみのある生き物が見える。
強靭な爪のある筋肉の束が炎を掻き分ける。
それは獅子のすがたをもつ炎である。

ＰＣは、祭壇の西に回り、西の方向に天蠍宮のサインを描く。
ＰＣ：「アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　ホゥシーアナ　（ יהושע אנה　われを助けよ）」

全員：「ホゥシーアナ　（ יהושע אנה　われを助けよ）」

ＰＣはヴァウ・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。
ＰＣ：「ヴァウ」（呼気）「ヘー」（吸気）「マー」（有の性質を強く意識する。）
全員：「ヴァウ」（呼気）「ヘー」（吸気）「マー」（有の性質を強く意識する。）

西の壁いっぱいに、ブルー・オーシャンがひろがる。
それは砂浜近くの明るい海水ではなく、海底の伺えない深海の青黒い海原である。
小島ほどもある巨大なうねりが押し寄せてくる。
その大うねりの海水の表面に、途方もなく巨大な翼ある生き物の影が映る。
それは鷲の翼のようである。

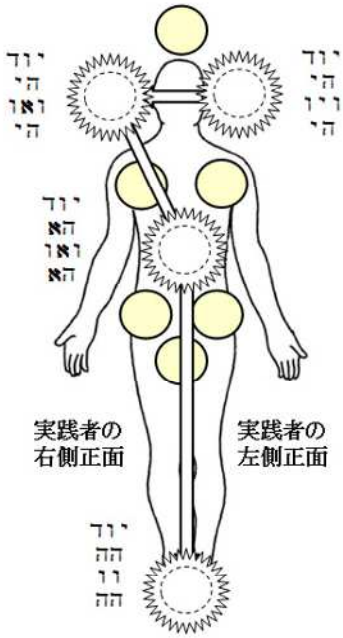
ＰＣは、祭壇の北に回り、北の方向に金牛宮のサインを描く。
ＰＣ：「アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　アーニー・ボー　（ אני בהו　われと名前なきもの）
　　エレッツ・カーナーニー（ ארץ כנעני　カナンの地よ）」

全員：「エレッツ・カーナーニー（ ארץ כנעני　カナンの地よ）」

北の壁いっぱいに、乾いた大地がひろがっている。
地平線の彼方には、雲をまといつかせた山脈が遠望できる。
彼方の雪の峰から手前にかけては、なだらかな丘陵地帯になっており、
その丘の上に角のある生き物の影が射す。
生き物は牡牛のように見える。

7　聖四文字のイクディム

ＰＣは、祭壇の西に回り、東面する。全員が東面する。
ＰＣは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。
ＰＣ：「われに畏怖すべき知性を与えたまへ。
そは創造の奇跡が、幾ばくも理解できぬことを教えるであろう。」[9]
全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。



ＰＣは右手を検指にして頭部の左側へ伸ばし、自らのコクマーに指向する。
ＰＣ：「われに輝ける知性を与えたまへ。
そはわが頭部を聖なる照明で輝かせるであろう。
יוד הי ויו הי（ヨド・ヒイ・ヴィヴ・ヒイ）」[10]
全員が剣指をコクマーに指向し、言う。
ＰＣ「יוד הי ויו הי（ヨド・ヒイ・ヴィヴ・ヒイ）」

ＰＣは剣指を顔の前を通過させ頭部の右側、自らのビナーに指向する。
ＰＣ「われに聖別する知性を与えたまへ。
そはわれに真実の信仰を与えるであろう。
יוד הי ואו הי（ヨド・ヒイ・ヴァヴ・ヒイ）」[11]
全員が剣指をビナーに指向し、言う。
ＰＣ「יוד הי ואו הי（ヨド・ヒイ・ヴァヴ・ヒイ）」

ＰＣは剣指を胸の中央、自らのティファレトに指向する。
ＰＣ「われに介在する知性を与えたまへ。
そは新たな流入をもたらすであろう。
יוד הא ואו הא（ヨド・ハー・ヴァヴ・ハー）」[12]
全員が剣指をティファレトに指向し、言う。
ＰＣ「יוד הא ואו הא（ヨド・ハー・ヴァヴ・ハー）」

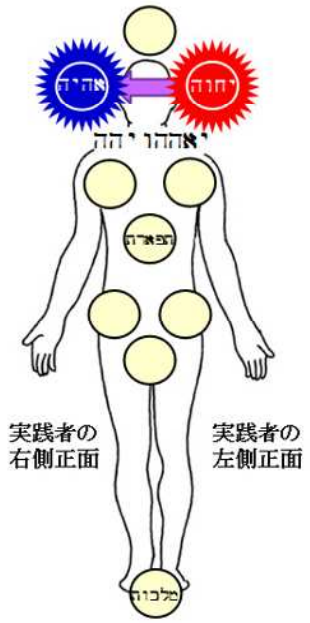
ＰＣは剣指を膝の上に足を指して添え、自らのマルクトに指向する。
ＰＣ「われに燦爛たる知性を与えたまへ。
そは光の壮麗さを照り輝かせる。
יוד הה וו הה（ヨド・フー・ヴゥー・フー）」[13]
全員が剣指をマルクトに指向し、言う。
ＰＣ「יוד הה וו הה（ヨド・フー・ヴゥー・フー）」

ＰＣは両腕を脇に垂して直立し、再度、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。
ＰＣ：「神殿に光を導き入れる。」
ＰＣは右腕を下方に伸ばしたまま、左手の指を揃え胸の上にあて、自らのコクマーに意識を集

---

(9)『知恵の三十二の小径』ケテルへの祈祷。**Dancing with Angels:Hebrew Kabbalah Meditation from Torah to Self-Improvement to Prophecy, 17 The Tree of Life, 17.1.3 The 32 Levels of Consciousness, University of Utah, n.d.**
(10)『知恵の三十二の小径』コクマーへの祈祷。前掲書。
(11)『知恵の三十二の小径』ビナーへの祈祷。前掲書。
(12)『知恵の三十二の小径』ティファレトへの祈祷。前掲書。
(13)『知恵の三十二の小径』マルクトへの祈祷。前掲書（一部加筆）。

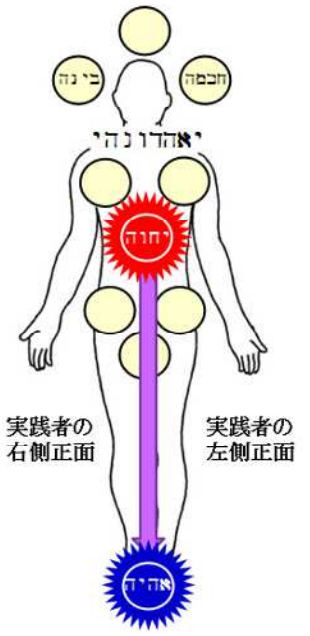
中させながら言う。
ＰＣ：「ヤ・ハ・ヴァ・ハ」
　全員が左手を胸にあて、言う。
全員：「ヤ・ハ・ヴァ・ハ」



　ＰＣは、胸の左手の上に右手を重ねると、自らのビナーに意識を集中させながら言う。
ＰＣ：「エーヘーイーエー」
　全員が右手を左手に重ねて、言う。
全員：「エーヘーイーエー」

　ＰＣは両手を開き、両脇に垂らして、八文字の名前を言う。
ＰＣ：「יאהוה יהא（イェーヘーヴィーヘェー）」
　全員が手を下ろし、言う。
全員：「יאהוה יהא（イェーヘーヴィーヘェー）」

　ＰＣは再び腹部の上に左手、右手の順に手を置き、自らのティファレトに意識を集中させながら言う。
ＰＣ：「ヨー・ホー・ヴォー・ホー」
　全員が言う。
全員：「ヨー・ホー・ヴォー・ホー」



　ＰＣは組んだ手をほどき、膝の上に揃えて、自らのマルクトに意識を集中させて、言う。
ＰＣ：「アドナイ」
　全員が両手を膝の上に揃えて、言う。
全員：「アドナイ」

　ＰＣは両手を開き、両脇に垂らして、八文字の名前を言う。
ＰＣ：「יאהדונהי（ヤーホードーナーイ）」
　全員が両手を開き、言う。
全員：「יאהדונהי（ヤーホードーナーイ）」

ＰＣは西を向いて、祭壇に面して、
ＰＣ：「天の光を迎え入れたり、われらは聖処に参集せり。」
　マルクトの神殿が変容する。香祭壇は、大理石の立方祭壇に変わる。
　ＰＣが祭壇の西から近づき東面し、宣言する。

ＰＣ：「祈りの声を聞かれたい。偉大にして強大なる主よ。
　　高貴にして慈悲深き君よ、その眼差しは被造物にあまねく下される。
　　汝が従僕たる祈り手に向き直り、好意を持ち答えたまえ。
　　全宇宙の主よ、万物の造り主よ、宇宙の一者よ。
　　わが叫びに答え、天の門を開きたまえ。
　　汝が膝下にある貴顕の御名を召喚するものなり。」(14)

　ＰＣが高らかに唄い始める。

（14）James R. Davila, *Descenders to the Chariot*, Boston : Brill, 2001, p.113.

ＰＣ：「リー・イェー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー・シャーディー
（ לי יש אחיה קבוץ שדי 汝が導きにわが望みを主よ。）
キー・ビー・ティー・シャーディー・リー・イェー・シュー・アッ・チャー
（ קבוץ שדי לי יש אחיה 我が望みを主の導かれるままに。）
シャーディー・リー・イェー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー
（ שדי לי יש אחיה קבוץ 主の導きに我が望みを。）」

ＰＣ：「サティームー・ヴェ・グー・リィアー（ סתים וגליא ）」
全員：「隠され開示されたり。」

聖化した四方位の風に取り巻かれ、四界へ密着せる宮殿において、春分の秘儀にあずかる。

ＰＣは、神殿の北に行き、南を向いて言う。

「この場は、光と闇の至聖処なり。
今、頭上に春分の太陽があり、
光は闇と均衡せんとしている。
われは律法の宰相として、
春分の執行を宣言する。」

8　春分の主祭

ＰＣは、神殿の東側から中央を向いて言う。
ＰＣ：「祭壇に宇宙の軸を召喚せん。
ＩａＨａＶａＨａ（ヤァー・ハァー・ヴァー・ハァー）
ＨｅＶｅＨｅＩｅ（ヘイ・ヴェイ・ヘイ・イェイ）
ＶｏＨｏＩｏＨｏ（ヴォー・ホォー・イョー・ホォー）
ＨＩＨＶ　　（ヘー・ヨド・ヘー・ヴァウ）」

ＰＣが宣言する。
ＰＣ：「大いなる周行をもって、祭壇に集中せん。」

祭壇を軸として、３度周行する。
ＰＣ：「神秘なる周行は完成し、昼と夜は均衡した。春分は到来せり。」

ＰＣは、祭壇の東に立ち、西に向かってハーポクラテスのサインを行う。
ＰＣ：「深き闇に拝礼す。光は闇より生まれたり。神殿の古きパスワードは・・・なり。」
ＰＣは、祭壇の西に廻り、東に向かってホルスのサインを行う。
ＰＣ：「全き光に拝礼す。闇は光に内在せり。神殿の新しきパスワードは・・・なり。」

ＰＣ：「パスワードは交換された。」

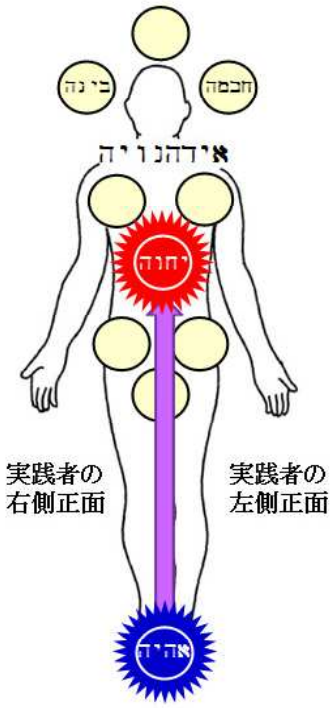
全員が祭壇を取り囲む。

ＰＣ：「腕を組み、手と手を取りて、われらのオーラをひとつに融け合わせよう。
無敵なる主の顕現にあずかりて、われらの霊魂をひとつとなし、
そをもちて、この神殿は栄光の場とならん。」

全員が手を組み輪のなかに祭壇を包み込む。
手を放すことなく次を唱える。
全員：「主よ。われらは自らを捧げん。
わが心臓と霊魂は、汝への絶ゆることなき供物とならん。
汝が御手の技の裔を受け、汝の意志のままに与え、奪いたまえ。アーメン。」

全員、東を向く。
全員：「聖なるかな、汝、宇宙の主よ！
聖なるかな、汝、自然の造らざる者よ！
聖なるかな、汝、広大にして強大なる者よ！
光と闇の主よ。」

9　諸天使の出立

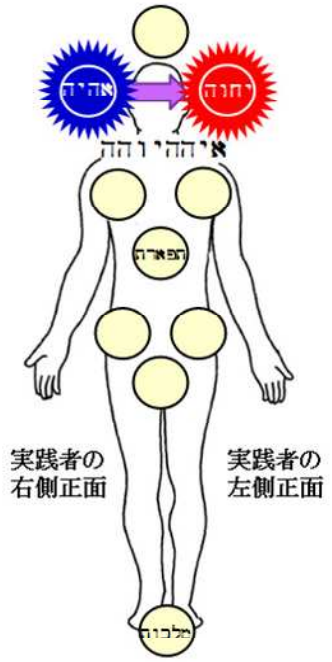


ＰＣは手を膝の上に揃えて、自らのマルクトに意識を集中させて、言う。
ＰＣ：「アドナイ」
　全員が両手を膝の上に揃えて、言う。
全員：「アドナイ」

ＰＣは手を上げ腹部の上に右手、左手の順に手を置き、自らのティファレトに意識を集中させながら言う。
ＰＣ：「ヨー・ホー・ヴォー・ホー」
　全員が腹部に両手を乗せ、言う。
全員：「ヨー・ホー・ヴォー・ホー」

ＰＣは両手を開き、両脇に垂らして、八文字の名前を言う。
ＰＣ：「אדהנ י ה（ヨードーノーヤー）」
　全員が両手を開き、言う。
全員：「אדהנ י ה（ヨードーノーヤー）」

ＰＣは胸の上に右手を乗せると、自らのビナーに意識を集中させながら言う。
ＰＣ：「エーヘーイーエー」
　全員が右手を胸にあて、言う。
全員：「エーヘーイーエー」



ＰＣは右手の上に左手を乗せると、自らのコクマーに意識を集中させながら言う。
ＰＣ：「ヤ・ハ・ヴァ・ハ」
　全員が左手を右手の上に乗せ、言う。
全員：「ヤ・ハ・ヴァ・ハ」

ＰＣは両手を開き、両脇に垂らして、八文字の名前を言う。
ＰＣ：「אהיהיואה（ヤーハッヴェーアー）」
　全員が手を下ろし、言う。
全員：「אהיהיואה（ヤーハッヴェーアー）」

ＰＣは宣言する。
ＰＣ：「天の光は帰還せり。」

神殿の床が瞬時に溶け落ち、全員がマルクト神殿に降り立った。

ＰＣは宣言する。
ＰＣ：「律法の宰相の加護に感謝する。
　　霊の虚の場所に戻りたまえ。」

ＰＣは再度、祭壇の西に行き、東を向く。
ＰＣ：「聖なる五つの文字に表象される長老たちよ。
　　ヨド・ヘー・シン・ヴァウ・ヘー（יהשוה）
　　万軍の将、霊の虚の場所に住まわん。

ヨド・ヘー・ヴァウ・シン・ヘー（יהושה）
戴冠せる王、霊の虚の場所に住まわん。
光と闇の轆轤を逆転し、魔術師の肉体を脱ぎ捨て、光へと帰還せん。」

ＰＣ：「主よ、われらの賛歌を聞きたまえ。宇宙の韻律と調和に、感謝を捧げん。
主の聖霊は、森羅万象の上にあり、下にあり、内にあり、外にもある。
主よ、生ける霊と人の子らに、法悦と祝福を与えたまえ。
律法の宰相は、肉の衣を去れり。」

全員：「主よ、われらに祝福あれ。われらは絶えることなく汝を称えん。」

10　地上への帰還

ＰＣ：「人の子らよ。律法の宰相は、去れり。されば、地上に帰還せん。」

ＰＣは《ヴェールを閉じる》サインを行う。
ＰＣ：「イェヘシュアーとイェホバシャーの御名において、
この儀式により拘束されし、すべての《霊》を解放せん。」

ＰＣ：「われは宣言する。神殿作業は終了せり。」

全員：「神殿作業は終了せり。アーメン。」

神殿の外へ出る。神殿の外庭でウシャブティを解放し、光の洞窟を通過して光体は自分の部屋に戻る。静かに肉体に戻る。四肢の感覚が戻ったところで、光の法衣を脱ぐ。（特別な手順は必要ない。）光の法衣とともに儀式中に刻印された封印、その他の印は精妙界に去る。
その後、静かに目を開き、立ち上がる。
法衣を着用している場合は、沈黙のうちに着替える。
普段着に戻り、儀式についての個人的メモ（『魔法日記』用）を終わるまで、この沈黙を続けるのが望ましい。その後は、軽い食事、飲み物等を採り、地上に帰還したことを自分自身に印象づけること。

VERBORUM PVBLICA
I∴O∴S∴
RITVALE DE
AEQVINOCTIO VERO XVIA

IMPRIMI POTEST : I∴O∴S∴
NIHIL OBSTAT QVOMINVS IMPRIMATVR
IMPRIMATVR : M.E.S.A. 5=6
MARTIVS MMXVI

春分儀式　ＶＥ１６Ａ

Copyrights © All rights reserved Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴ 2016

２０１６年３月１２日　Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴発行

本文書は、複数のまたは個人の団員が、魔術実践の練習のために使用するものであり、Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴の公式儀式手順書ではない。従って、本儀式を公に実施するテンプル、ロッジはその旨を会員に明確に告示する必要がある。しかし、それは同時に本文書を利用した会員の自由な実践活動を妨げるものではない。会員外の使用については、Ｉ∴Ｏ∴Ｓ∴の許可が必要である。本文書の著作権は団に所属する。本文書の内容の一部または全部を、団の文書による許可なく、機械的、電子的、光学的、霊的、その他の手段で複製、引用、転写することを禁じる。

表紙図版：カバラの師匠と天の蛇